

**あなたに代わって的確に養液を管理する「できーくん」新発売！**

今号は、新製品のご紹介です。今までに生理障害・病気などの障害で一作ダメにしたなどのトラブルは、ほとんどの方が一度や二度は経験されていることと思います。「できーくん」は、それらの現象を未然に防止する切り札となるものです。養液自動制御の普及によって、手作業によっていたPH・EC管理時代とは比べものにならない程きめ細かな追肥管理が行われ、一定基準にこれらが管理され、栽培者の労力軽減と順調な生育を得ることができました。しかし、これらは肥料供給側での管理システムであり、栽培経過に伴う根からの根酸など老廃物発生に伴う養液維持管理手法は、謎だらけでした。養液分析をしても、違いが出てこない、同じ管理をしているのだ

が、調子が違う！プロ集団であるはずのベテラン農家でも、当たり外れが生じていました。この操作は、経験と勘に基づいて、それぞれ独自の手法で実施されているのが現状ですが、その操作を的確に実施されている圃場では順調、そうでない圃場では不調と二極分化していました。問題はその違いが何で生じているかの理解が、意外とできていなかったと言えます。それだったら機械化を考えようというのが、開発の動機でした。今回の「できーくん」は、あなたに代わって、この維持管理操作を機械が自動的に適切にやってくれるユニットです。勝手に機械がやってくれて順調な生育が確保できる・・・ということから「できーくん」のネーミングをつけました。植物の生

育状態・環境条件に対応した植物生理に基づく養液管理を可能にするユニットで、水耕30年の経験を織り込んだものです。8月からみつば、レタス、イチゴ、トマト農家を皮切りに納入も始まっています。

機械で的確養液維持管理  
どんなプラントにも対応  
どんな作目にも対応  
設置は簡単

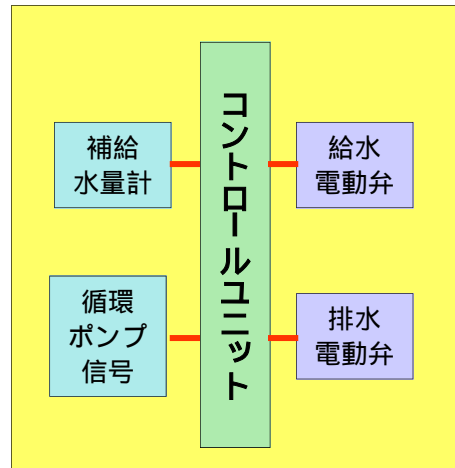
肥料・原水消費削減  
の特徴をもっています。すでに納入いただいた農家では、生育の順調さ、管理手間の軽減で喜ばれています。ユニット価格35万、据付調整工事費6万とわずかな投資金額で、歩留まり向上によるその何倍もの効果を体験してください。

(開発 岡本正則)

外観



できーくんの機能



みつば栽培農家事例 (I農園)



レタス栽培農家事例 (I農園)



トマト栽培農家事例 (K農園)

